



石岡第二高等学校が「いばたん」で特別賞を受賞！

関係政策企画課 TEL 23-7277

※「いばたん」って何？

茨城の魅力を探究し発信する高校生コンテスト（通称いばたん）は、2019年から茨城大学人文社会学部が高校生と大学生の教育と地域貢献を目的として行っているプロジェクトです。雄弁に茨城の魅力を語ることができる茨城が大好きな若者を育成することを目指しています。

4年目となる今年は、県内20の高等学校が参加し、1,377名による417作品の応募の中から、石岡第二高等学校の額賀華蓮さん、足立結希乃さん、阿部結華さん、小林琉菜さんのチームによる、柿岡にかつて存在していた柿岡城に関する動画が1次審査を通過した21作品に選ばれ、さらに特別賞を受賞しました。

また、水城高等学校の幕内彩咲さん、仲村希さん、新井結希乃さんのチームも、隠れた石岡市の魅力と称して常陸国分寺に関する動画を作成し、1次審査を通過した21作品に選ばれ、さらに奨励賞を受賞しました。



▲谷島市長（右）と石岡第二高等学校の皆さん

石岡第二高等学校の「FIND OUT KAKIOKA」と水城高等学校の「隠れた石岡市の魅力～常陸国分寺～」はこちらからご覧になれます▶



受賞された皆さんにお話を聞きました

○石岡第二高等学校の皆さん

「柿岡にかつて存在していた柿岡城の隠された衝撃を探し出す！」をテーマにした動画となっています。チームの代表 額賀華蓮さんは「もともと賞を取る気で動画を制作しましたが、映画館で他の高校生の動画を観た時に『どれもレベルが高いな。これは賞をとるのは難しいかもしれない』と思ってしまったほど、どの作品も素敵でした。その中で、私たちの作品が特別賞だと発表された時はとても嬉しかったです」と受賞を喜び、今後は「優

秀賞に選ばれなかった悔しさを糧に、何をやるにも『さらに上』を目指すようにしていきたいと考えています」と話してくれました。



○水城高等学校の皆さん

「どのようにすれば石岡市の良さを動画で伝えられるかなど、チームの3人で力を合わせて試行錯誤した結果がコンテストで評価されて、とても嬉しく思います」と語り「石岡市のよく知られているような魅力はもちろん、常陸国分寺のような隠れた石岡の魅力を探究し、周囲の人へ発信していこうと思います」と話してくれました。

